データエントリー

ここでは、サイトセレクション、GPS、で得た情報をもとに、観測サイトの登録、データ送信までの手順を説明します。

各 GLOBE 学校で観測されたデータは、直接アメリカ本部のサーバに送信します。入力画面は、英語の表示になります。データ入力の際、コメントを付ける必要がある場合、日本語は使えません。各調査項目の入力は、今回の各観測方法の講習を参考に行ってください。

実際にやってみよう

観測サイトの登録、データ送信をテスト用のログイン名とパスワードを使ってやってみましょう。ブラウザは各学校で使い慣れている物を使用してください。今回は、Internet Explorer を使っています。

手順

１．ログインの仕方
２．観測サイトの登録
３．データ入力と送信

１．ログインの仕方

観測サイトの登録は、直接アメリカの GLOBE サーバで行います。各 GLOBE 学校で観測されたデータも、毎日アメリカのサーバに送信しますので、始めにデータ入力のページを開きましょう。

データ入力のページ

まずは、アメリカのホームページを見てみます。アドレスに

http://www.globe.gov

を入力して Enter キーを押してください。

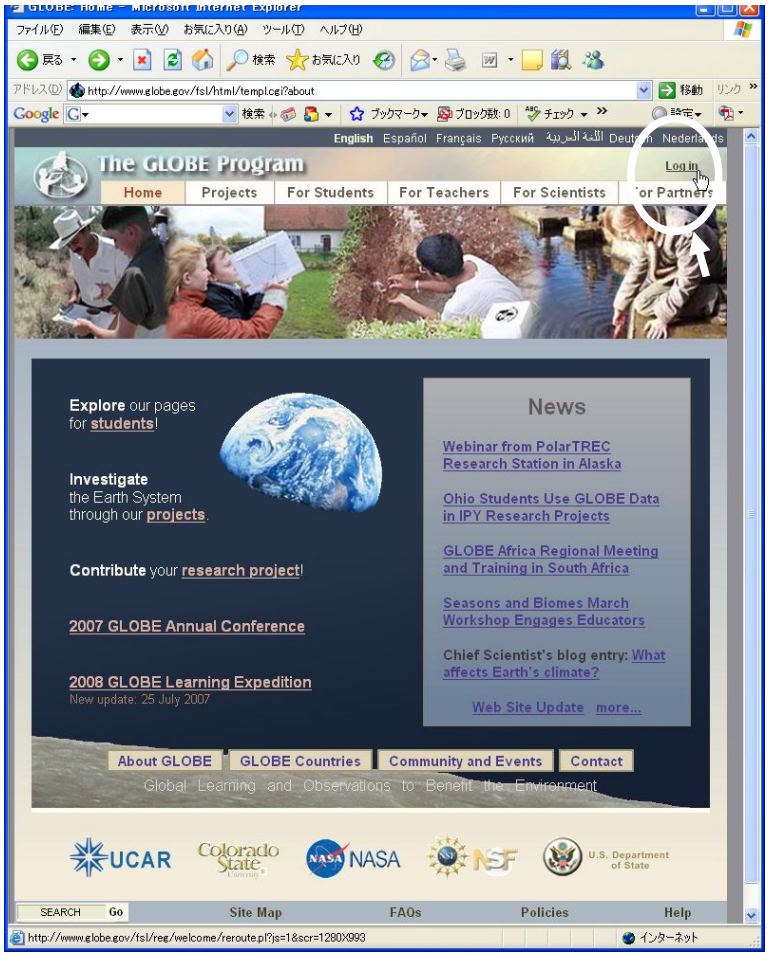
US GLOBE のトップのページになるはずです。

データエントリー

データの送信をする場合、必ず始めにログインする必要があります。各 GLOBE 学校には、ＩＤ取得の手続きが済むとＩＤ（ユーザー名）とパスワードが与えられます。これを使いログインしてください。ＩＤとパスワードはたいへん重要なものなので、忘れたり、外部の人に知られないように、しっかり管理してください。今回は練習用のＩＤとパスワードを使用します。

方法

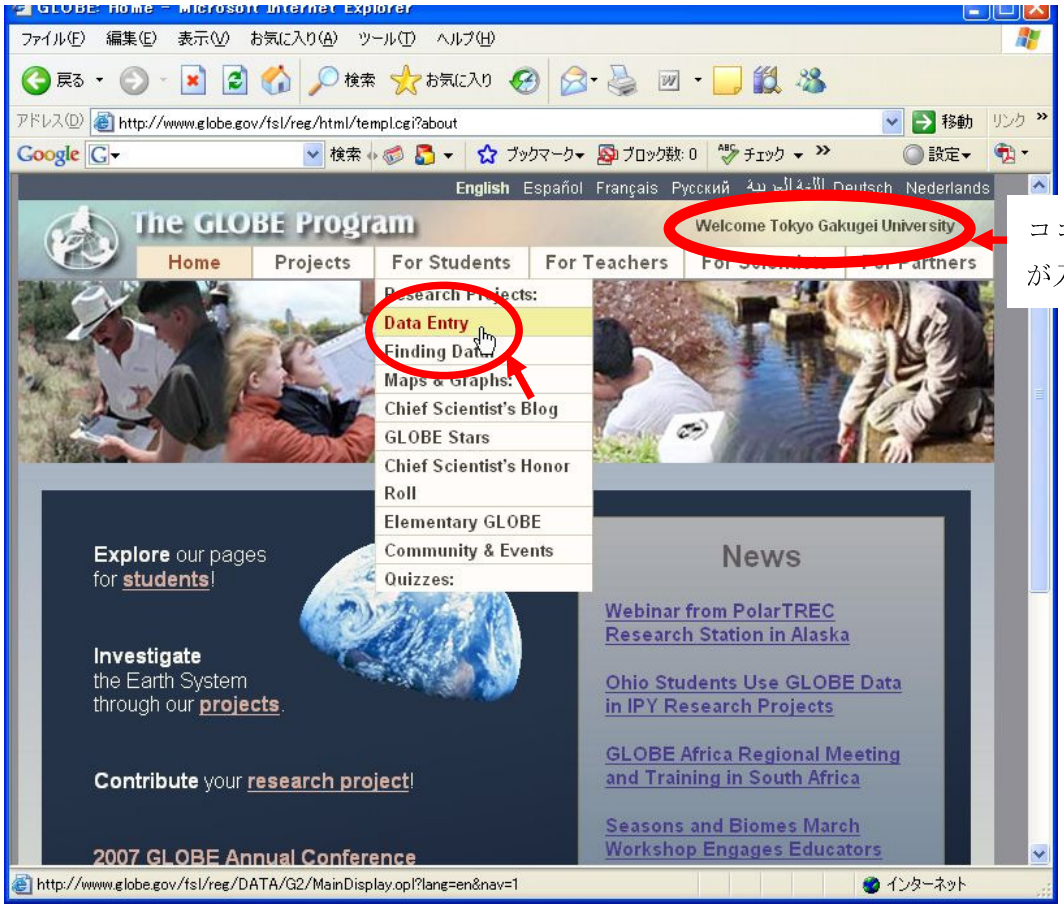
US GLOBE のホームページを表示し、ページの右上の “**Log in**” をクリックします。



すると、次ページの図のようにパスワードの入力を求められるので、ＩＤ（ユーザー名）とパスワードを入力し“**OK**”をクリックします。

データエントリー

ログインに成功した場合、下の図のような画面になります。



次に、上のタブの “**For Students**” にカーソルをおき、“**Data Entry**” をクリックしてください。これで、データ入力のページに入りました。

２．観測サイトの登録

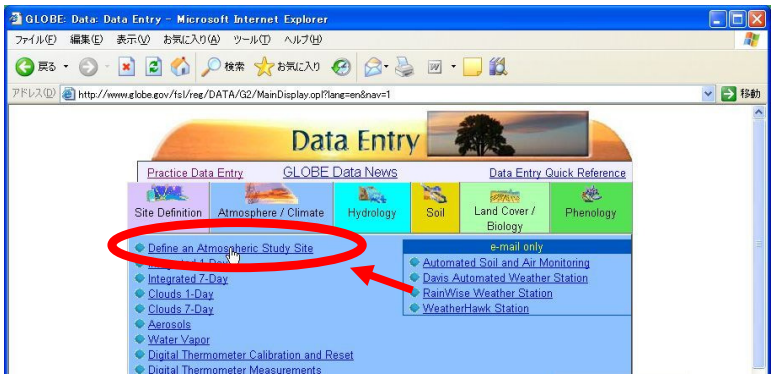
ログインに成功したら、観測サイトの登録をしてみましょう。これは練習用の画面ですので、実際の登録画面と多少違うところがあるかもしれませんが、空欄を埋めていけば、問題ありません。観測サイトの登録には事前の準備が必要です。各観測サイトの位置を決め、入力に必要な情報を記録し、GPS 受信機を使い、緯度・経度・海抜高度を調べておきましょう。

今回は練習として、大気調査の観測サイトを登録してみます。

方法

Data Entry のトップ画面を見ると、調査ごとに “**Define ○ ○ ○ study Site**” があるのがわかります。これがサイト登録のページになります。今回は大気調査を例にしますので、“**Atmosphere / Climate**”の“**Define an Atmospheric Study Site**”をクリックします。

データエントリー



すると図のような画面になります。早速、観測サイトの登録です。

項目欄を適宜埋めていきましょう。“**Select**”の欄は 矢印をクリックすると選択枝が現われるので、あうものを選びます。空欄は、英数字等を入力してください。観測サイトの名前は、その場所を良くあらわすようなものをつけると良いです。

注意：＊印の項目は必ず入力してください。この項目が空欄の場合、必ずエラーになります。

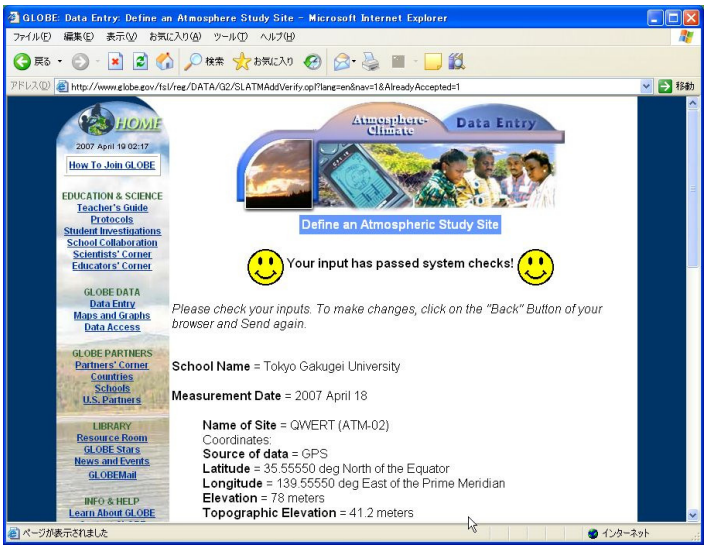
すべて入力が終わったら、間違いがないか確認し “**Send Data**” をクリックします。

入力にミスがなければ、図の様なマークとともに、登録内容が見られるはずです。

もし、入力にミスがある場合は、図のようなマークとともに、どこを直す必要があるか、英語のメッセージで教えてくれます。この訂正の指示はさまざまです。訂正が終わったら、もう一度“**Send Data**” をクリックしましょう。

注意：！印に続くメッセージをよく読み、適宜訂正を行ってください。

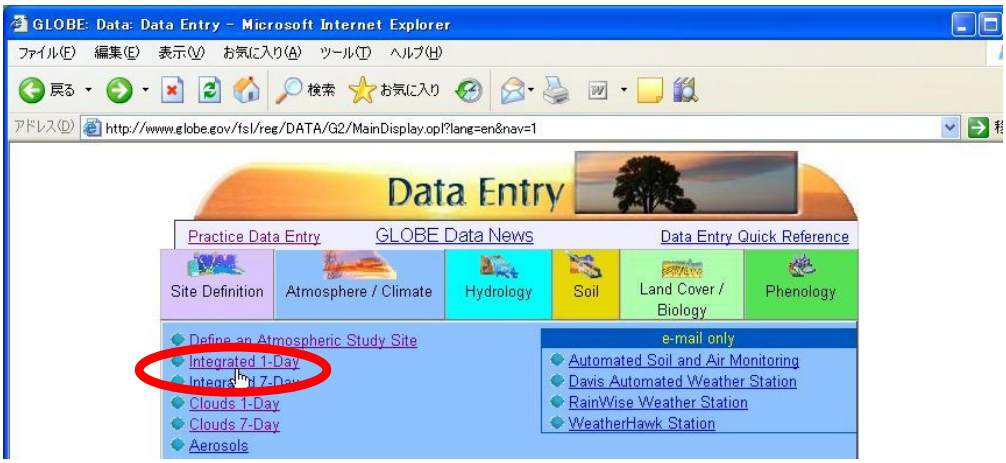
下のような画面が見られたら成功です。成功するまで繰り返しましょう。



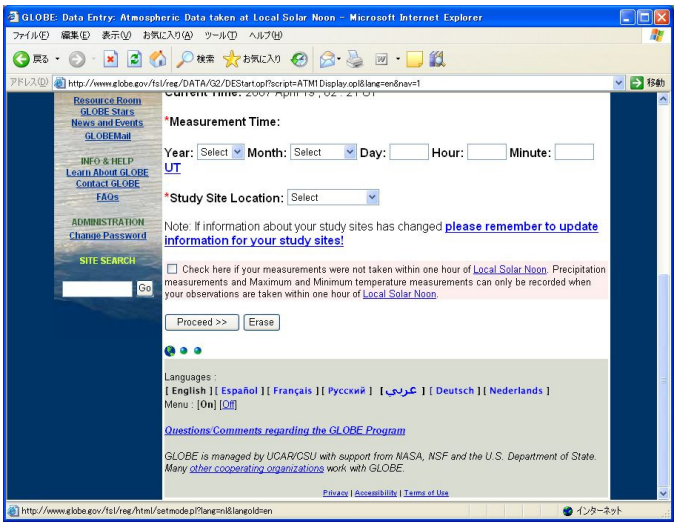
３．データ入力と送信

各 GLOBE 学校で観測したデータは毎日送信してください。送信するときは必ず始めにログインする必要があります。ログインした後、左側の目次の“**Data Entry**”をクリックし、Data Entry のページよりデータ入力する観測項目を選んでください。今回は、実際のデータ送信でよく使われる、大気調査の１日毎のデータを送信するための**“Integrated 1-Day”** で試してみましょう。**“Integrated 1-Day”** をクリックしてください。

データエントリー



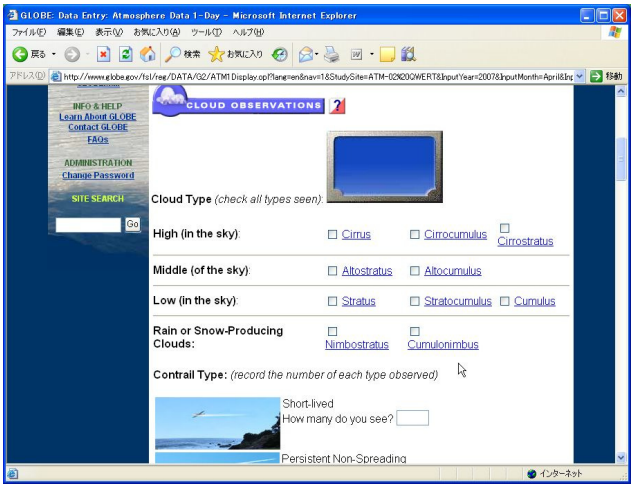
入力の仕方は観測サイトの登録と同じですが、時刻の入力に気をつけてください。データ送信の際に使う時刻は、**世界標準時（ＵＴ）**です。日本時間より９時間引いた時刻になります。



次の**“Study Site Location”**には、多数の登録がありますが、その中に先ほど登録したサイト名もあるはずです。各自先ほど登録した大気調査の観測サイトを選択してみましょう。
注意：実際にはＩＤにあわせて各学校の観測サイトのみが表示されます。複数登録した場合、選択を間違えないように注意しましょう。

入力ができたら“Proceed >>”をクリックしてください。観測サイトの登録同様、入力ミスがあった場合は、！印とともにメッセージが出ます。内容を確認して修正してください。
間違えがなければ、下の画面のようにデータ入力画面が見られます。観測した項目のデータ

を入力し、“**Send Data >>**”をクリックするとデータが送信されます。



注意：各観測項目については、講習の内容および観測マニュアルを参考にしてください。

間違ったデータを送信してしまった場合は、ページごとに正しいデータをすべて入力し直し再送信してください。再送信の際、観測した項目を空欄にすると、空欄で上書きされます。